

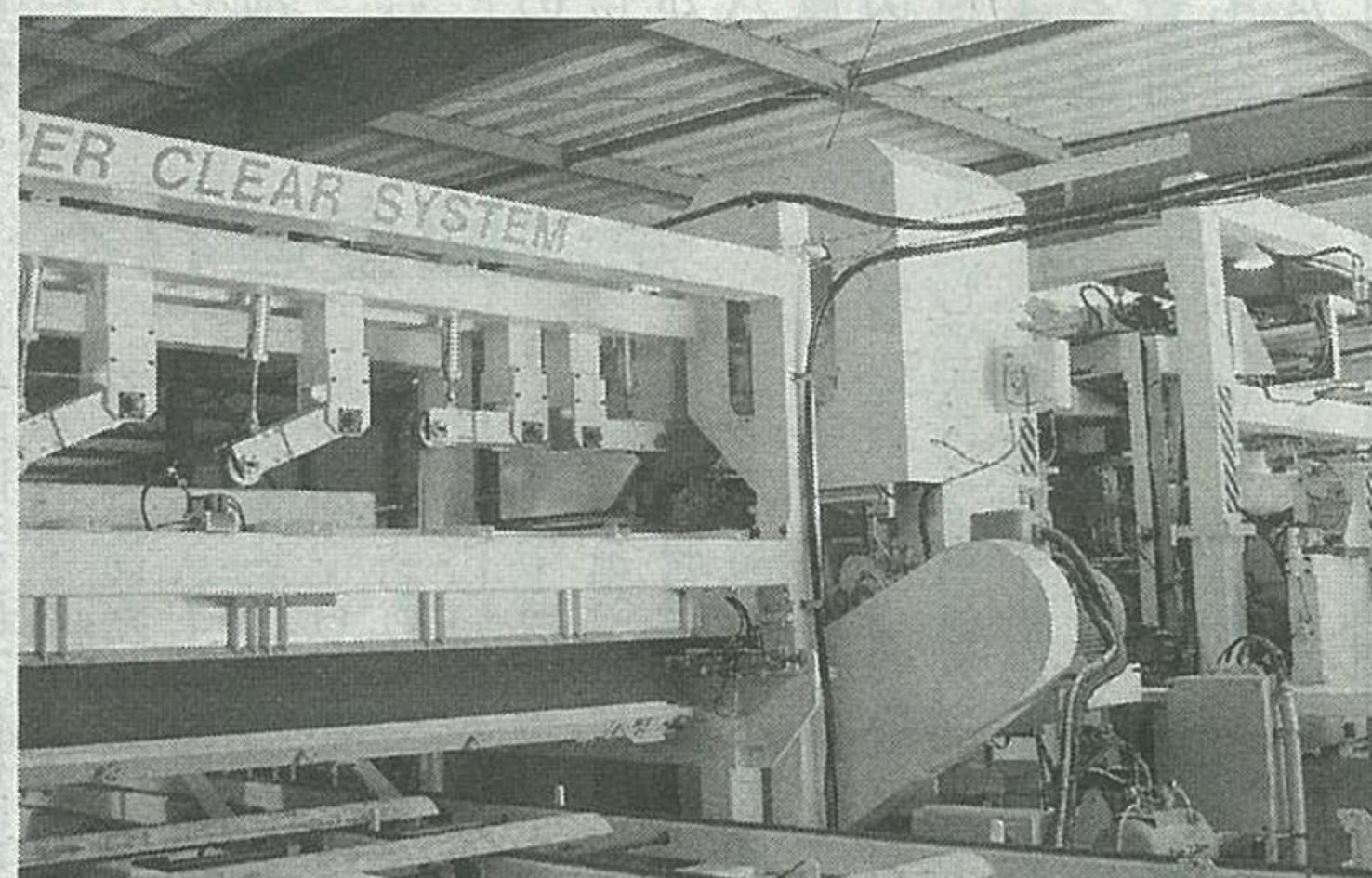
西村木材店多気工場が稼働 年間8万m³の大型製材工場

新規システムの中日本圏域の拠点工場として整備が進められた西村木材店（三重県松阪市、西村仁雄社長）の多気工場（三重県多気郡多気町）が、このほど稼働を始めた。既存の工場からの設備移設を含めると竣工は7月頃となる予定で、東海地区最大の国産材製材工場として年間8万立方メートルの素材消費を計画している。

同社は林野庁の新規システムモデル事業に平成18年4月に採択され、園内森林組合などと協定を結び原木の安定供給に向けた体制作りを進めてきた。山

の仕事にも対応できる多品種生産にも対応するため

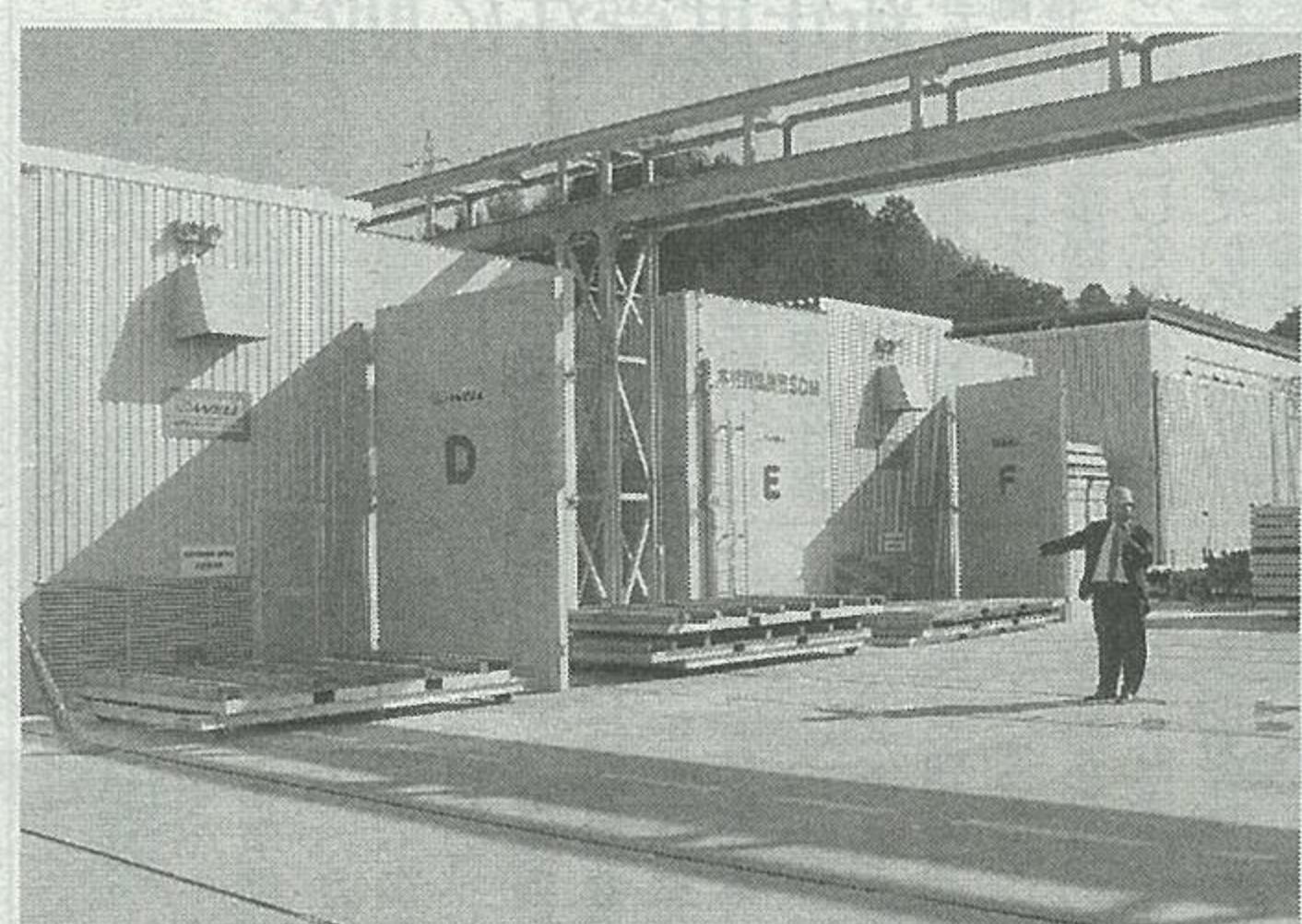
元から大型車による直送などにも取り組み、流通コストを削減する一方で商流は守り、山元への還元と製材工場側からの情報発信を行ってきた。住宅会社などとの取引のなかで、6ヶ月先の上棟予定などの情報を共有し、必要な径級、長級などの情報を提供。仕様契約に基づいた指定部材が長期契約で流れようになっており。また、大手だけでなく地域工務店や設計事務所に、地域の特徴ある製材工場とのOEM供給にも取り組んでいる。



菊川鉄工所の高速ワンウェイ方式の製材機。スピニング機能を持ち丸太の姿勢を制御

製材・乾燥

高速ワンウェイ式、柱を10秒で



東北通商・山本ビニター製の乾燥機

同社は松阪市内に3工場を持ち、20年度は3万4000立方メートルの素材消費規模まで拡大しており、この施設を多気工場に集約するとともに菊川鉄工所の「スーパークリアシステム」という高速ワンウェイ式製材システムを導入する。新工場は「既存の機械を導入するのではなく、技術開発、革新の

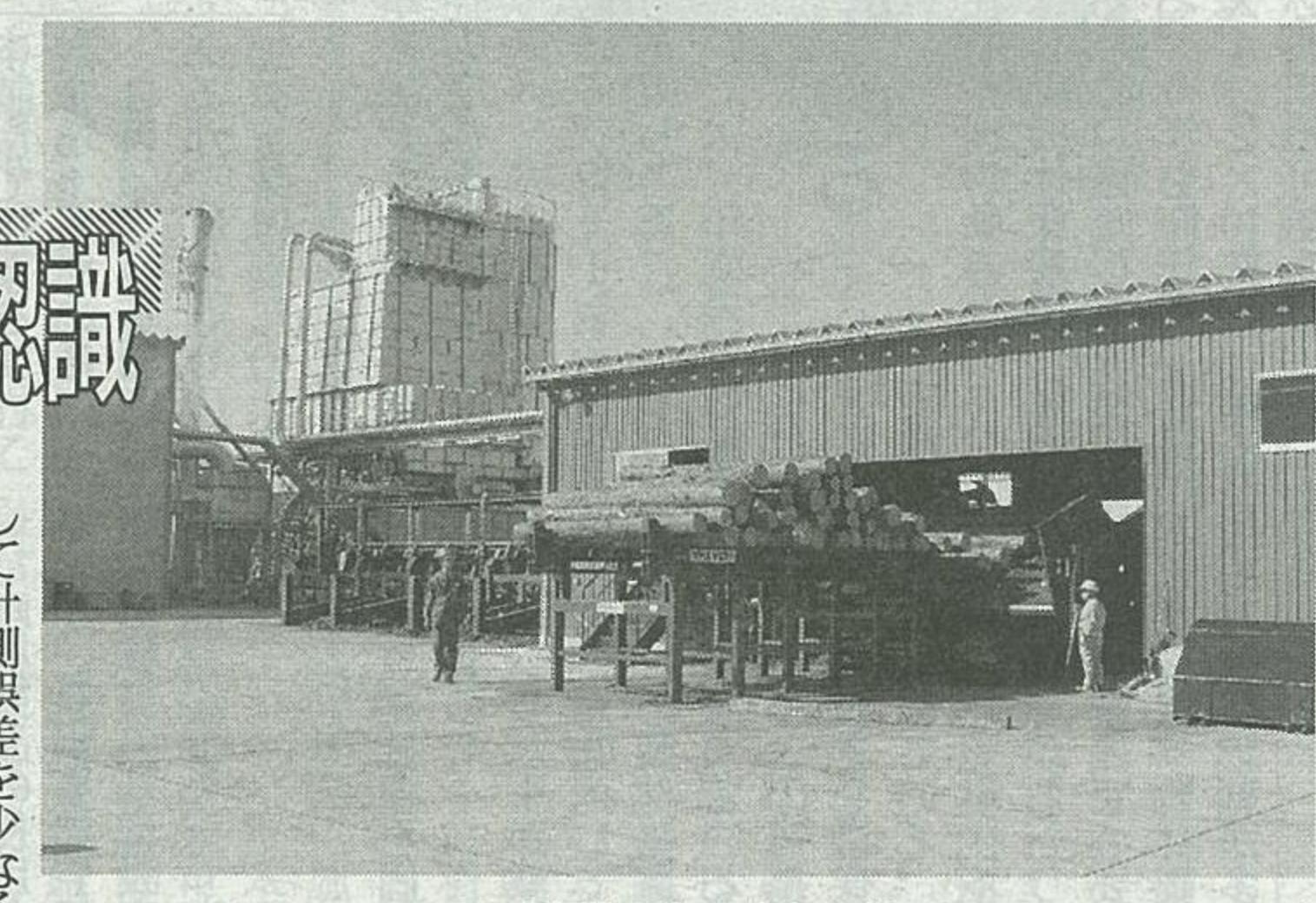
期含水率に応じた適切な人工乾燥を行う。重量選別だけでは、含水率の低い黒芯材などの軸になるのが高周波蒸気複合乾燥機「ディーウェル」（山本ビニター）で、今回導入されたディーウェルは乾燥炉内の幅・長さが通常タイプより余裕をもって大きく設計。これにより、風の流れや温度が均一になるよう配慮されているほか、高周波もバランスよく加熱できるようになつているという。こ

そして、高品質乾燥の軸になるのが高周波蒸気複合乾燥機「ディーウェル」（山本ビニター）で、今回導入されたディーウェルは乾燥炉内の幅・長さが通常タイプより余裕をもって大きく設計。これにより、風の流れや温度が均一になるよう配慮されているほか、高周波もバランスよく加熱できるようになつているという。こ

れは「桧の良質乾燥」にこだわる西村木材店のニーズに応えたもので、乾燥スケジュールにも新たな工夫が盛り込まれた。

原木選別機、皮剥ぎ装置、ボイラー

高精度カメラで原木を的確に認識



エノ産業の丸太皮むき機

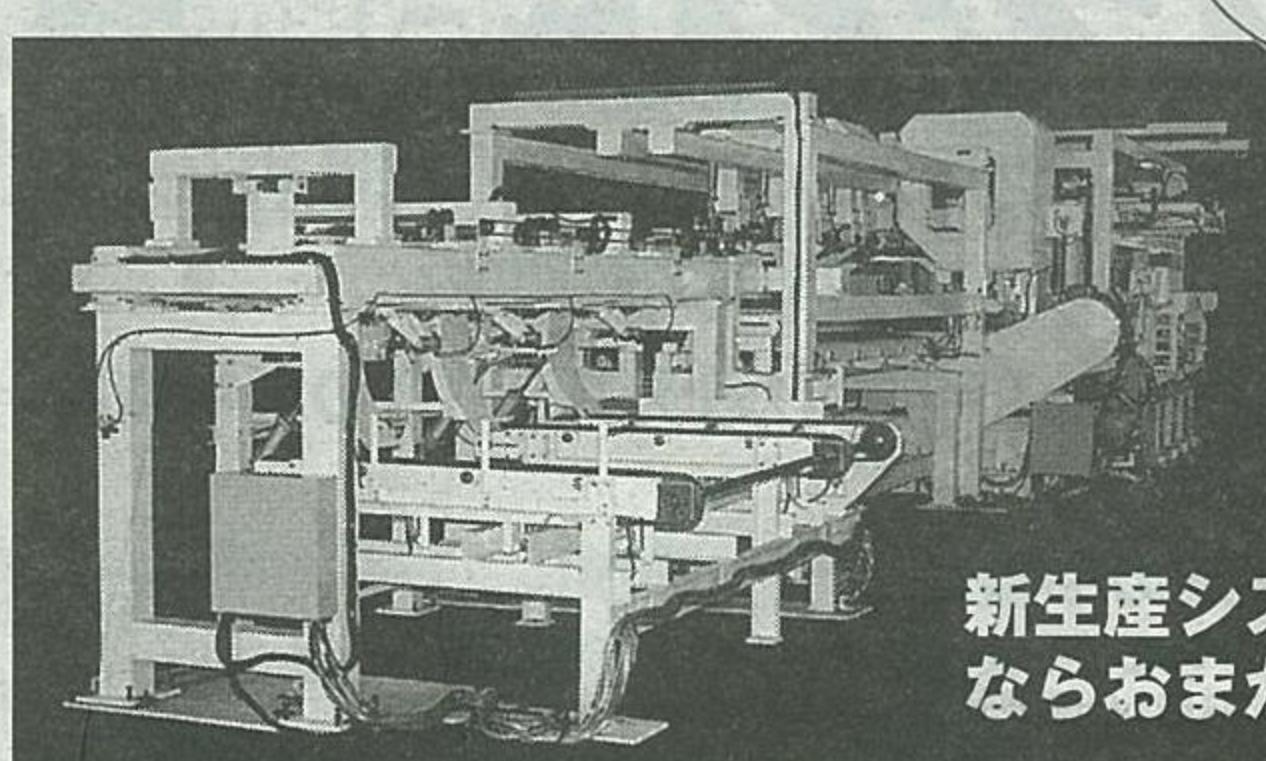
は、高速自動選別機HCM-20（エノ産業）を新規に導入した。材径計測部は高精度CCDカメラを4基設置し、各方向から原木の外形をスキャンすることで、变形を最小限に抑えられる。また、特別仕様で、各方向

皮剥ぎ装置には移設分を含めエノリングバー1カーラム55RFII（エノ産業）2機と同一RFの計3機を導入。RFIIはロータリーの回転にロータリーカッタ14本が運動して回転する独自機構を持ち、ノーマンで高能率の皮剥ぎを行う。新設分1機で処理能力（3材材換算）は6本/分で、移設分を合わせたトータル能力は8時間稼働時で計7200本を有することになる。

して計測誤差を少なくしているのが特徴。仕分け装置は10スパン両落とし20力所。処理能力は3材材換算で8本/分（8時間稼働時3840本）。皮剥ぎ装置には移設分を含めエノリングバー1カーラム55RFII（エノ産業）2機と同一RFの計3機を導入。RFIIはロータリーの回転にロータリーカッタ14本が運動して回転する独自機構を持ち、ノーマンで高能率の皮剥ぎを行う。新設分1機で処理能力（3材材換算）は6本/分で、移設分を合わせたトータル能力は8時間稼働時で計7200本を有することになる。

KIKUKAWA

ワンウェイ式無人製材システム “Super Clear System”



第38回名古屋国際木工機械展技術優秀賞受賞

当社従来機比約2.5～3倍の生産能力。

生産量当たり約2/3と省スペース。

新生産システムへの対応ならおまかせ下さい。

高精度ムラ取りかんな盤 MJJ-151

蓄積した匠の技と独創の技術から生まれたレーザ加工機・産業機械の明日を見据えています

MJJ-151 完全ムラ取りを実現した今話題のかんな盤

MDJ-221 ベルトが曲がりを吸収 板材用ムラ取りモルダ

M-224 たどいま大人気の評判モルダ

株式会社 飯田工業株式会社

〒485-8655 本社・工場 愛知県小牧市大字村中153番地
TEL. 0568-75-5321(代表) FAX. 0568-75-5329
総務:75-5325 技術:75-5327 業務:76-4175
レーザPJ:75-9455

URL <http://www.iidakg.com>
E-Mail gyomu@iidakg.co.jp

株式会社 菊川鉄工所 (URL) <http://www.kikukawa.co.jp/> (E-MAIL) sales@kikukawa.co.jp
〒516-8686 三重県伊勢市大湊町85 TEL 0596-36-2181 FAX 0596-36-4198
営業所 東京・大阪・名古屋・福岡